

今年7月開院へ 公立佐賀中央病院から 明るく安心な未来を創る



市長 あけましておめでとうございます。数年にわたって準備を進めてきた公立佐賀中央病院が、遂に今年、開院を迎えますね。これから共に、素晴らしい病院づくりができればと思っております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 新年おめでとうございます。市長とはこれまでより良い地域医療のために対話を重ねてきました。本日も有意義な話ができればと思いますので、よろしくお願いいたします。

地域に根ざしたやさしい病院

市長 昨今は政府としても近隣の公的病院が連携・統合するなどし、拠点病院をつくるよう国が推し進めています。そうした中で多久市と小城市は統合の道を選び、実を結ぶ日が近づいてきました。

佐藤 いよいよですね。新たな病院には既存・新設合わせて22の診療科の設置を予定しています。多久市立病院と小城市民病院がうまく相互補完できた形となります。

市長 地域のみなさんのニーズにも応えやすい、万全の体制づくりですね。また、佐賀県の中央に拠点的な病院が必要であったこともあり、新病院がまさにその役割を果たせると思います。県内の高度急性期に対応する病院へつなぐにも良い距離感です。

佐藤 「公立佐賀中央病院」の名のとおり、県央の拠点病院としてしっかり成長する必要がありますね。さらに、多久市では介護・福祉の地域包括ケアも充実していると伺っています。

市長 はい、例えば多久市には「ちくたくネット」という在宅医療・介護連携ネットワークがあり、職種の垣根を超えて活発に活動されています。こ